

日本アジア投資株式会社 2020年3月期 第3四半期 決算補足資料

決算発表日：2020年2月14日

(ご注意) 本資料に記載された事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的とするものではありません。なお、本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示しております。

1. 総括	P3
2. 当四半期の実績（累計）	P4
3. 通期の業績予想	P12
4. 営業活動の状況	P15
5. 参考情報	P22

（ご注意）本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示しております。

1. 総括

✓ 当四半期の実績（累計）

- 前年同期比：22.8%減収、赤字幅5.5億円拡大
- 他社が運営するプライベートエクイティファンドからの利益が減少

✓ 通期の業績予想

- 営業収益26億円（25.7%減）、最終利益1億円（80.0%減）に下方修正
- 第4四半期に見込んでいた株式売却が想定を超えて下振れの見込み
- メガソーラーの売却や、他の株式、営業外の資産の売却で一部をカバーする見込みながらも、下振れの全てを補うことができない見込み

✓ 営業活動の状況

- FIT30円台のメガソーラープロジェクト3件に新規投資を実行
- プロジェクト投資のパートナー企業に対する「戦略投資」を4件実行
- IPO実績3社、(株)ファンペップは上場承認を受けたが上場手続きを延期
- 物流倉庫の建設プロジェクト、収益不動産（商業ビル）の中期投資プロジェクトに投資を実行、プロジェクト投資の新規分野を開拓

2. 当四半期の実績（累計）

ハイライト	P5
営業収益・営業原価内訳	P8
中期経営計画の進捗状況	P9

2.当四半期の実績（累計）-ハイライト P/L

	2019/3期 3Q 実績	2020/3期 3Q 実績	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率
営業収益	1,214	↓ 937	△22.8%
営業原価	857	815	△4.9%
営業総利益	356	121	△65.9%
販管費	816	780	△4.4%
営業利益	△459	△658	-
経常利益	△512	△753	-
親会社株主に帰属する当期純利益	△197	↓ △752	-

- ✓ 前年同期比：△22.8%(△277百万円)減収、△ 555百万円赤字拡大
- ✓ 他社が運営するプライベートエクイティファンドからの利益減少が主因
影響額は、営業収益：△201百万円、特別利益：△425百万円

2.当四半期の実績（累計）-ハイライト B/S

	2019/3期末 実績	2020/3期 3Q 実績	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率
総資産	17,305	14,972	△13.5%
うち 現預金	5,564	2,125	△61.8%
うち 営業投資有価証券・貸付金（プロジェクト投資）	5,514	↑ 6,281	13.9%
うち 営業投資有価証券（戦略投資）	373	↑ 855	129.4%
うち 営業投資有価証券（戦略投資以外、引当後）	4,765	4,644	△2.6%
借入金	9,784	8,166	△16.5%
自己資本	6,840	6,427	△6.0%
現預金+プロジェクト投資△借入金	1,294	↓ 240	△81.4%

- ✓ プロジェクト投資：順調な投資や貸付の実行により残高が増加
- ✓ 戦略投資：4件の投資実行により残高が増加
- ✓ 財務バランス※：投資実行により減少したものの、プラスを維持
（※現預金とプロジェクト投資営業資産の合計額と、借入金とを比較した財務バランス）

2.当四半期の実績（累計）-ハイライト C/F

（単位：百万円）	2019/3期 3Q 実績	2020/3期 3Q 実績
営業活動によるCF	994	△950
投資活動によるCF	703	64
財務活動によるCF	△2,173	△1,617
CF増減額	△491	△2,524
期末残高	4,265	1,557

- ✓ 営業CF：950百万円の支出
投資進捗に伴うファンド出資が前年同期から増加し、支出超過
- ✓ 投資CF：64百万円の収入
ファンド（投資有価証券）の償還額が前年同期から減少
- ✓ 財務CF：1,617百万円の支出
返済優先の財務対応を改め借入金の返済額を減額したため、支出額が前年同期から減少

2.当四半期の実績（累計）－営業収益・営業原価 内訳

(単位：百万円)	合計		プライベートエクイティ投資		プロジェクト投資	
	2019/3期 3Q 実績	2020/3期 3Q 実績	2019/3期 3Q 実績	2020/3期 3Q 実績	2019/3期 3Q 実績	2020/3期 3Q 実績
営業収益	1,214	937	1,055	798	158	138
管理運営報酬等	187	153	186	151	1	2
営業投資有価証券売却高	602	566	579	566	23	0
組合持分利益等	391	187	276	71	114	116
その他営業収益	32	29	13	9	19	19
営業原価	857	815	841	700	16	115
営業投資有価証券売却原価	272	436	255	436	16	0
営業投資有価証券評価損・ 投資損失引当金繰入額	540	237	540	237	-	-
組合持分損失等	40	137	40	22	-	115
その他営業原価	4	4	4	4	-	-
営業総利益	356	121	213	98	142	23

✓ プライベートエクイティ投資：

- ・ 営業収益のうち組合持分利益等が減少、他社ファンドからの利益が減少したため
- ・ 営業原価のうち株式の売却原価が増加、投資倍率の高い上場株式の売却が減少したことや、大型未上場株式の流動化を優先し売却損を計上したため。他方、評価損・繰入額は減少

✓ プロジェクト投資：

- ・ 植物工場の立上げにかかる費用で、営業原価のうち組合持分損失等が増加

2.当四半期の実績（累計）－中期経営計画の進捗状況 －プライベートエクイティ投資

項目	施策	進捗状況
既存資産の流動化	IPOによる売却益獲得に加え、未上場株式や営業外の資産も流動化を促進する	<ul style="list-style-type: none"> • IPO済みの国内株式の売却や、中国の未上場株式の流動化を実現 • 第4四半期に見込んでいた株式売却益が大幅に下振れの見込みであり、期初の業績見込を下方修正
ファンドの新設	海外進出支援、対日直接投資支援を目的とする2つのファンドを設立する	<ul style="list-style-type: none"> • 海外進出支援ファンドにつき、今期中の設立を目指して、投資家候補への募集活動を実施中 • 対日直接投資の支援ファンドは、投資家との考え方が一致せず、設立に至っていない
ネットワーク、M&A	<ul style="list-style-type: none"> • 社外ネットワーク（国内・アジア）を強化し、グローバル支援体制を構築する • クロスボーダーM&Aを中心としたFA業務への取り組みを開始する 	<ul style="list-style-type: none"> • 中国では、西安市ハイテク産業区、煙台市投資促進センター、武漢市商務局と協力協定を締結 • バンコクでは現地のベンチャーキャピタル、証券会社と協力協定を締結 • アジアのビジネスパートナーからのM&A案件を、当社の国内ネットワークを用いて日本の上場会社向けに提案中
戦略投資	Bankable（金融機関からの負債性資金調達が可能）な新規事業を創出し、プロジェクトへの投資と共に、パートナー企業への戦略投資も行う	<ul style="list-style-type: none"> • 2019年10月に、障がい者向けグループホームの建設プロジェクトを開始 • 4件の戦略投資を実行 ソーシャルインクルー(株)（グループホーム） (株)森久エンジニアリング（植物工場） スマートソーラー(株)（メガソーラー） MD-Farm(株)（植物工場（イチゴ栽培））

2.当四半期の実績（累計）－中期経営計画の進捗状況 －プロジェクト投資

項目	施策	進捗状況
再生可能エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> メガソーラーを最優先として、バイオガス・バイオマスの新規案件にも投資する 高採算案件への投資機会は時限性があるため、積極投資を継続する 	<ul style="list-style-type: none"> バイオガス発電所の原料となる廃棄物の、中間処理施設のオペレーターに対して投資を実行 FIT価格30円台のメガソーラープロジェクト新規案件3件に投資実行
スマートアグリ	植物工場1号案件を軌道に乗せ、後続案件に投資する	<ul style="list-style-type: none"> 1号工場では、大手外食チェーン等の販路開拓に成功したが、販売高は計画を下回り、フル稼働による単月黒字化は2020年4月以降の見込み 2号工場への投資は、1号工場の規模拡大に向けた態勢を固めた後に行う計画
ヘルスケア	件数を追わず採算性を重視し、介護施設開発案件に選別的に投資する	1件のプロジェクトへの投資を決定 開発業者によるプロジェクト全体の組成を待ち、第4四半期に投資実行予定
その他の新規分野	採算性の高いプロジェクトに投資可能な他の新規分野を開拓する	<ul style="list-style-type: none"> 国内の収益物件（商業ビル）へ中期投資を実行 国内の物流倉庫の建設プロジェクトに投資実行

2.当四半期の実績（累計） 中期経営計画の進捗状況－KPI

最終目標	2021/3期
最終利益	7億円
ROE	9%

戦略	施策	KPI 2020/3期3Q 実績	KPI 2021/3期 目標
プロジェクト投資 資産からの安定収 益拡大	プロジェクト投資営業資産残高	62億円	90億円
	プロジェクト投資資産を長期保 有した場合の累計利益合計額※	59億円	200億円
	現預金とプロジェクト投資資産 の合計額と借入金のバランス	+2億円	+56億円
プライベートエク イティ投資資産他 の入替	戦略投資等以外の資産の早期流 動化・収益化	残高46億円 (引当後)	残高10億円 (引当後)
	・新規投資用のファンド設立 ・戦略投資の実行	残高8億円	残高10億円

※一定の仮定で試算した、当社グループの運営するプロジェクトを継続保有した場合の累計利益見込額の合計（割引前）

※2020年3月期に売却を見込む6プロジェクトは除く。

3. 通期の業績予想

将来に関する記述等についてのご注意 P13

従来連結基準による見込値 P14

- ✓ 業績予想につきましては、当社グループが展開するプライベートエクイティ投資はその事業特性上株式市場等の変動要因による影響が極めて大きく、加えて昨今の変動の激しい環境下においては合理的な業績予想が困難なため、当社は業績予想を行っておりません。
- ✓ しかしながら、投資家及び株主の皆さまの利便に資するべく、業績予想に代えて、ある一定の前提を元に策定した「従来連結基準による見込値」を、数値の合理性は低いものの、参考情報として開示しております。
- ✓ なお、当該「従来連結基準による見込値」をはじめとする本資料に掲載されている全ての将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報及び一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の数値は様々な要因により記述されている内容とは大きく異なる可能性があります。

3. 通期の業績予想 - 従来連結基準による見込値

	通期見込 (2019/5/15発表)	2020/3期 通期 修正見込 (2020/2/14発表値)		
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減額	増減率
営業収益	3,500	2,600	△900	△25.7%
営業原価	1,600	1,400	△200	△12.5%
営業総利益	1,900	1,200	△700	△36.8%
販管費	1,100	1,130	30	2.7%
営業利益	800	70	△730	△91.3%
経常利益	650	△60	△710	-
親会社株主に帰属する当期純利益	500	100	△400	△80.0%

増減額の内訳：

株式売却高	△2,350
メガソーラー売却高	+1,350
その他	+100
合計	△900

増減額の内訳：

株式売却益	△1,810
メガソーラー売却益	+960
特別利益及び税金減少	+310
その他	+140
合計	△400

- ✓ 営業収益26億円（△9億円）、最終利益1億円（△4億円）に下方修正
- ✓ 第4四半期に見込んでいた株式売却益が、IPO延期、売却価格の低下、売却交渉の不成立、売却条件悪化等により想定を超えて下振れの見込み
- ✓ メガソーラーの売却（売却額13.5億円、売却益9.6億円）や、営業外資産の売却による特別利益、税金費用減少（合計3.1億円）で一部をカバーする見込みながらも、下振れの全てを補うことができない見込み

4. 営業活動の状況

プライベートエクイティ投資	P16
プロジェクト投資	P19
アジアネットワーク	P21

投資実行 合計 9社、9.7億円

うち、戦略投資 4社



スマートソーラー株式会社

事業内容：メガソーラー発電所事業、公共・産業用スマートシティ事業、住宅用太陽光発電事業



ソーシャルインクルー株式会社

事業内容：障がい者向けグループホーム「ソーシャルインクルーホーム」の運営



MD-Farm株式会社

事業内容：イチゴの閉鎖型植物工場プラントの開発・販売、農業コンサルティング等



株式会社森久エンジニアリング

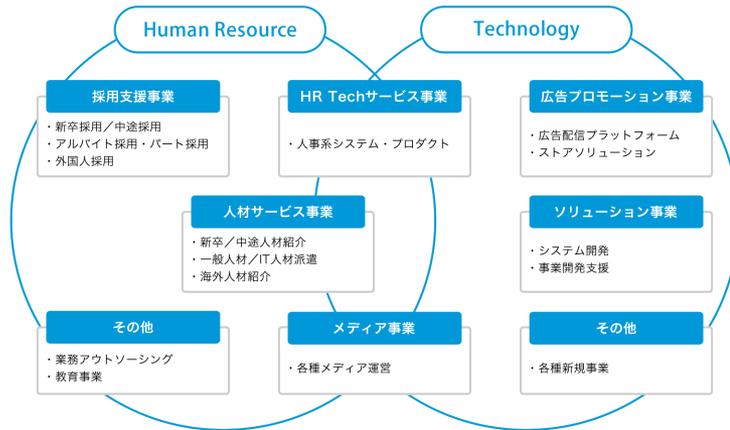
事業内容：植物工場の開発・企画・建設・運営、ブランド野菜「モーベル」の生産

戦略投資以外の投資実行 5社



投資事例：株式会社 ネオキャリア

“「ヒト」と「テクノロジー」で、一人ひとりの価値ある未来を実現する”



- 人材事業、HR Tech (IT、メディア) 事業、ヘルスケア事業、グローバル事業の4領域にて事業展開
- 提供するサービスは、人材派遣や人材紹介、採用支援、広告プロモーション、メディア運営、システムの受託開発・IT領域での新規事業開発支援、HR Techなど多岐に亘る
- 今後は、特にHR Tech事業に注力し、人事向けSaaS型プラットフォームサービス“jinjer”、web会議システム“Calling”、単発アルバイトマッチングアプリ“wakumo”などの自社開発プロダクトを拡大していく計画
- 人材事業では、介護・保育士・医療事業者を対象としたヘルスケア分野に注力
- 国内で培ったノウハウを活用して、アジア10カ国21拠点で人材紹介事業「REERACOEN」を展開している他、BPO (業務アウトソーシング) 事業も手掛ける



(株)ステムリム

生体内に存在する幹細胞を活性化し、
損傷組織の再生を誘導する医薬品・
医療機器及び遺伝子治療等製品の
研究、開発、製造、販売

上場市場：東証マザーズ（4599）
上場日：2019年8月9日



(株)ピー・ビーシステムズ

企業の基幹システムをクラウド化する
「セキュアクラウドシステム事業」、
VRシアター4D王の製造販売を行う
「エモーショナルシステム事業」

上場市場：福証Q-Board（4447）
上場日：2019年9月12日



Fangdd Network Group Ltd.

中国最大の不動産仲介サイト「房多多」の運営

上場市場：NASDAQグローバル（DUO）
上場日：2019年11月1日

投資実行 9件、合計19.5億円

No.	所在場所	プロジェクト種類	発電容量	特徴
1	栃木県	太陽光発電所	2.0MW	新規案件（FIT32円）
2	栃木県	太陽光発電所	2.0MW	新規案件（FIT32円）
3	栃木県	太陽光発電所	2.0MW	新規案件（FIT36円）
4	東京都	バイオガス発電所	1.6MW	併設する廃棄物処理施設のオペレーターへの投資
5	兵庫県	植物工場	－	工場の操業資金を追加投資
6	熊本県	太陽光発電所	11.8MW	追加投資（FIT36円）
7	愛知県	商業ビル	－	収益不動産への中期投資
8	埼玉県	物流倉庫	－	新規建設プロジェクトへの投資
9	神奈川県	物流倉庫	－	新規建設プロジェクトへの投資

- ✓ FIT価格30円台のメガソーラープロジェクト3件に投資実行
- ✓ 新規分野として物流倉庫や収益不動産（商業ビル）に投資
- ✓ 上記の他、障がい者向けグループホームプロジェクト1件に貸付を実行

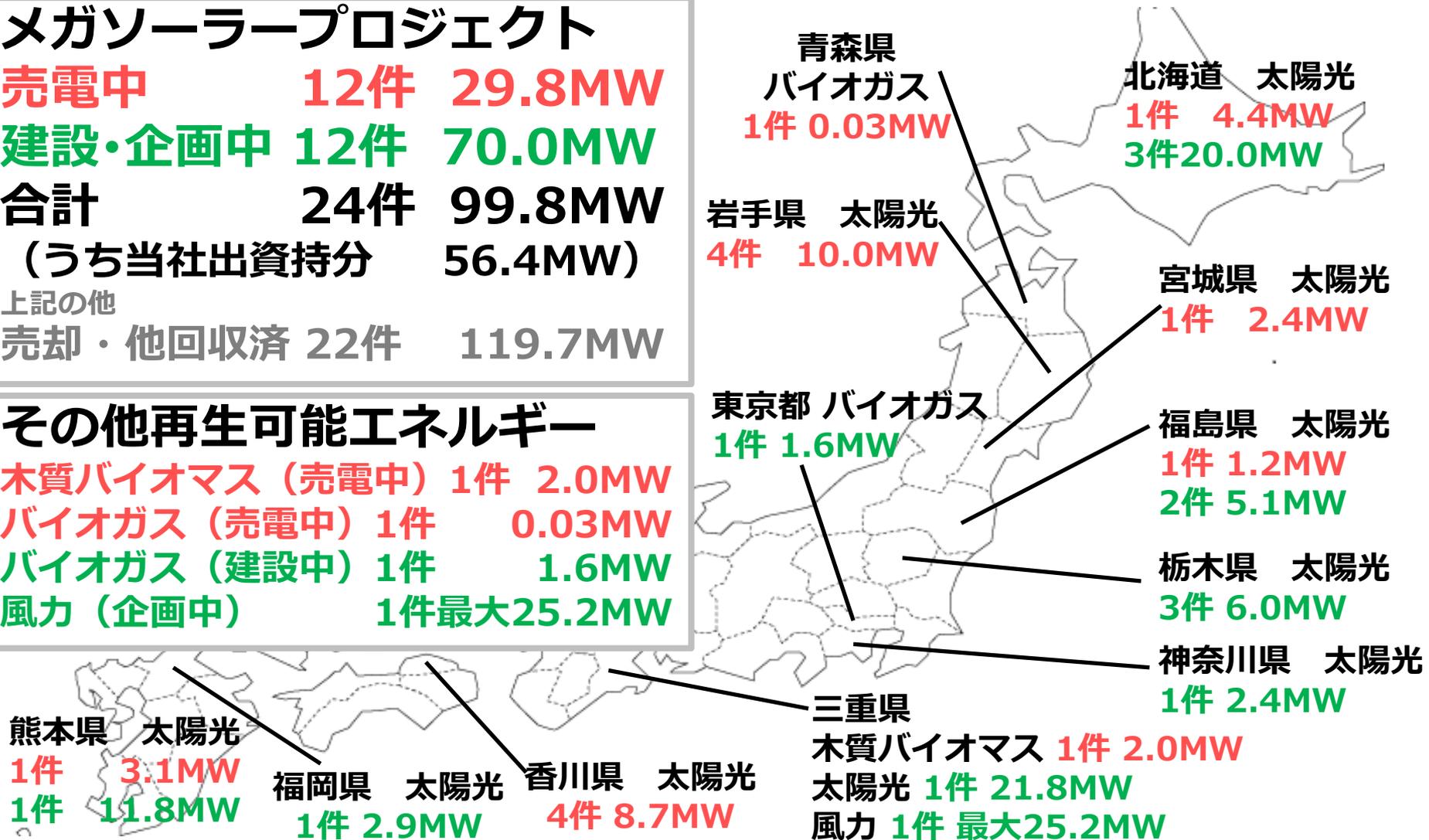
4. 営業活動の状況－プロジェクト投資 再生可能エネルギープロジェクト一覧 (2019年12月末)

メガソーラープロジェクト

売電中	12件	29.8MW
建設・企画中	12件	70.0MW
合計	24件	99.8MW
(うち当社出資持分)		56.4MW)
上記の他		
売却・他回収済	22件	119.7MW

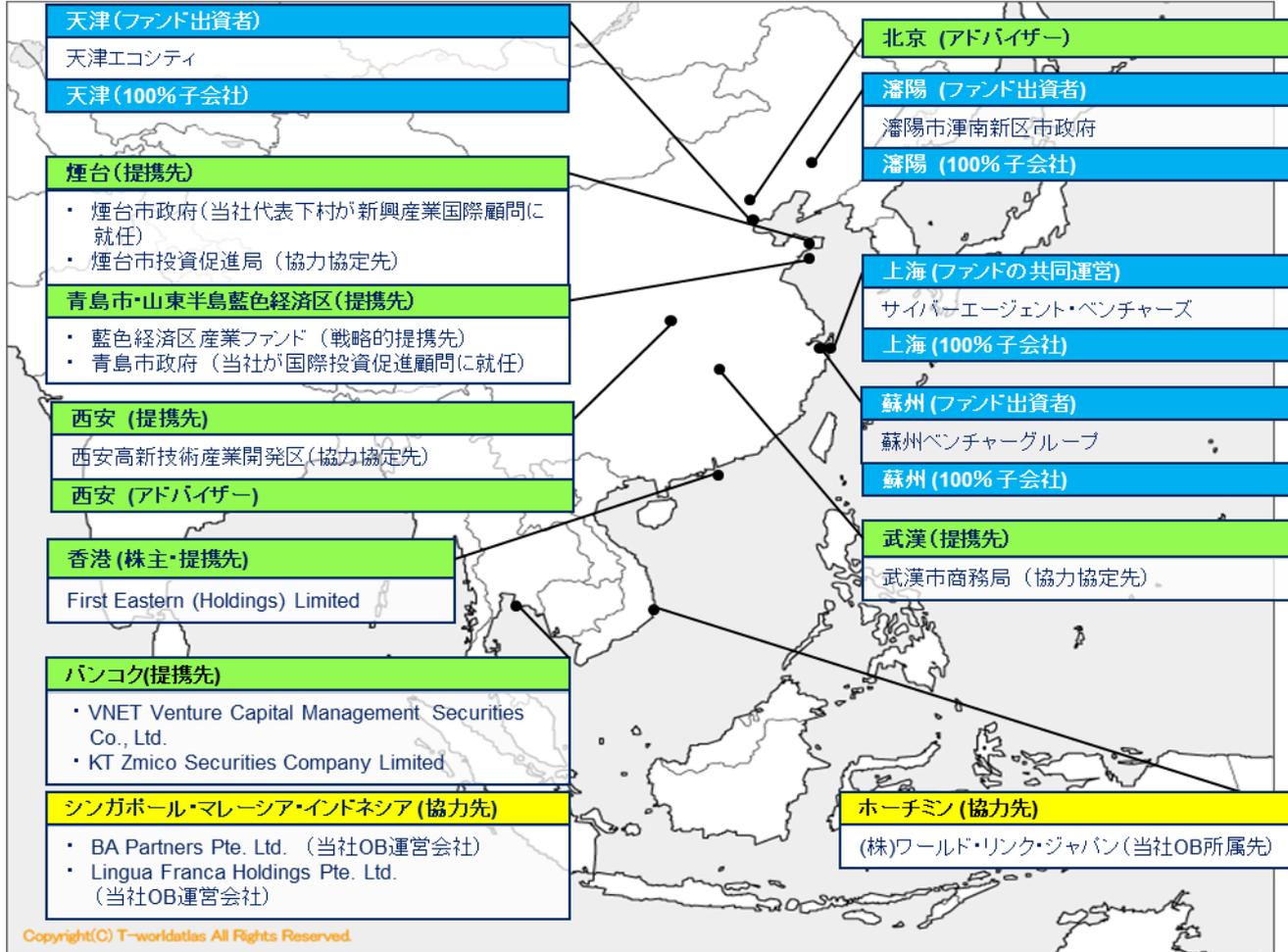
その他再生可能エネルギー

木質バイオマス (売電中)	1件	2.0MW
バイオガス (売電中)	1件	0.03MW
バイオガス (建設中)	1件	1.6MW
風力 (企画中)	1件	最大25.2MW



※各プロジェクトに対する当社の出資比率はプロジェクト毎に異なるため、当社の投資額や当社に帰属する売電収益の金額は、必ずしもプロジェクトのMW数に連動しておりません。

4. 営業活動の状況 – アジアネットワーク



- ✓ 当社の強みであるアジアのビジネスネットワークをさらに強化し、M&A事業の立上げや投資先企業の支援に活用
- ✓ 中国では、西安市ハイテク産業開発区、煙台市投資促進センター、武漢市商務局と協力協定を締結
- ✓ タイでは、現地のベンチャーキャピタル、証券会社と協力協定を締結

5. 参考情報

プロジェクト投資の案件一覧	P23
プライベートエクイティ投資 投資残高内訳	P25
ファンド運用残高・投資残高・営業投資有価証券残高の関係	P26
主要データの推移	P27
営業収益・営業原価 内訳	P29
JAICの強み	P30
収益構造	P31
会社概要	P33

プロジェクト投資 案件一覧-1 (2019年12月末)



プロジェクト種類		発電所名/所在地	発電容量 (MW)	プロジェクト進捗状況	FIT (税抜、円)	プロジェクト外総額
メガソーラー 発電	1	熊本県球磨郡錦町	3.1	売電中 (2015年12月売電開始)	40	約10.5億円
	2	一関市藤沢町太陽光発電所	2.3	売電中 (2016年9月売電開始)	36	約7.3億円
	3	野間池ソーラー発電所	2.4	売電中 (2017年5月売電開始)	36	約8億円
	4	福島猪苗代太陽光発電所	1.2	売電中 (2017年9月売電開始)	36	約3.4億円
	5	御田神辺池ソーラー発電所	1.5	売電中 (2017年9月売電開始)	32	約5億円
	6	岩手一関ソーラーパーク	2.4	売電中 (2018年1月売電開始)	36	約8億円
	7	帯広ソーラーパーク	4.4	売電中 (2018年3月売電開始)	40	約22億円
	8	中王田池ソーラー発電所	2.4	売電中 (2018年4月売電開始)	36	約8.6億円
	9	一関市吉高太陽光発電所	2.6	売電中 (2018年6月売電開始)	36	-
	10	東王田池ソーラー発電所	2.4	売電中 (2018年7月売電開始)	36	約8.6億円
	11	一関市鈴ヶ沢太陽光発電所	2.7	売電中 (2018年10月売電開始)	36	-
	12	加美ソーラーパーク	2.4	売電中 (2018年10月売電開始)	36	約9.6億円
	13	北海道紋別市弘道太陽光発電所	15.7	建設・企画	40	約66億円
	14	北海道	2.0	建設・企画	36	-
	15	三重県	21.8	建設・企画	24	-
	16	福島県	2.4	建設・企画	32	-
	17	福島県	2.7	建設・企画	40	-
	18	熊本県	11.8	建設・企画	36	-
	19	北海道	2.3	建設・企画	40	-
	20	神奈川県	2.4	建設・企画	32	-
	21	福岡県	2.9	建設・企画	36	-
	22	栃木県	2.0	建設・企画	36	-
	23	栃木県	2.0	建設・企画	32	-
	24	栃木県	2.0	建設・企画	32	-
合計99.8MW (うち当社出資持分 56.4MW)						

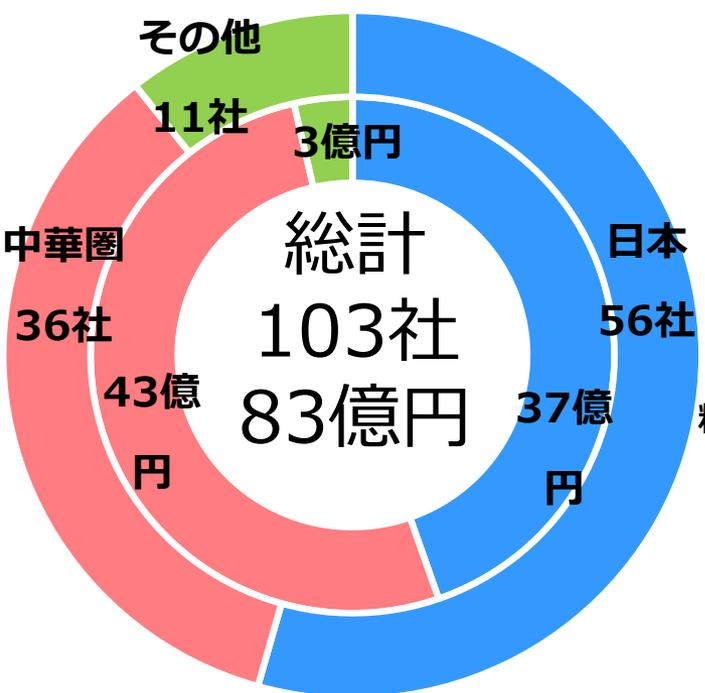
プロジェクト投資 案件一覧-2 (2019年12月末)



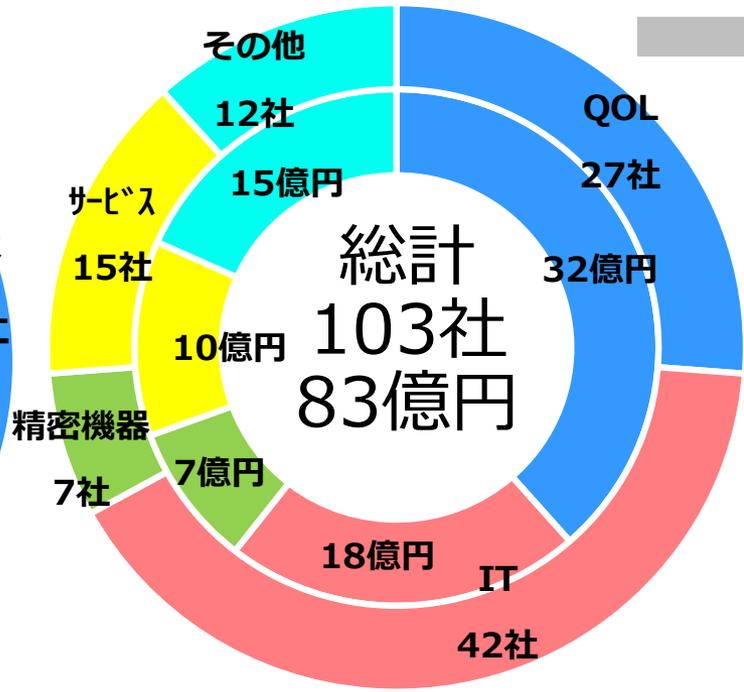
プロジェクト種類		発電所名/所在地	発電容量 (MW)	プロジェクト進捗状況	FIT (税抜、円)	プロジェクト外総額
木質バイオマス発電		三重県松阪市	2.0	売電中 (2018年1月売電開始)	-	-
バイオガス発電	1	東京都	1.6	建設・企画 併設する廃棄物中間処理施設のオペレーター	39	-
	2	青森東北町発電所	0.03	売電中 (2018年11月売電開始)	39	-
風力発電		三重県	最大25.2	建設・企画中	22	-
植物工場		兵庫県丹波篠山市	-	操業中 (2019年3月操業開始)	-	約7億円
グループホーム		静岡県浜松市	-	建設中	-	-
商業ビル		愛知県	-	営業中 (既存ビルへの投資)	-	-
物流倉庫	1	埼玉県	-	企画 中	-	-
	2	神奈川県	-	企画 中	-	-

投資残高 103社、合計83億円

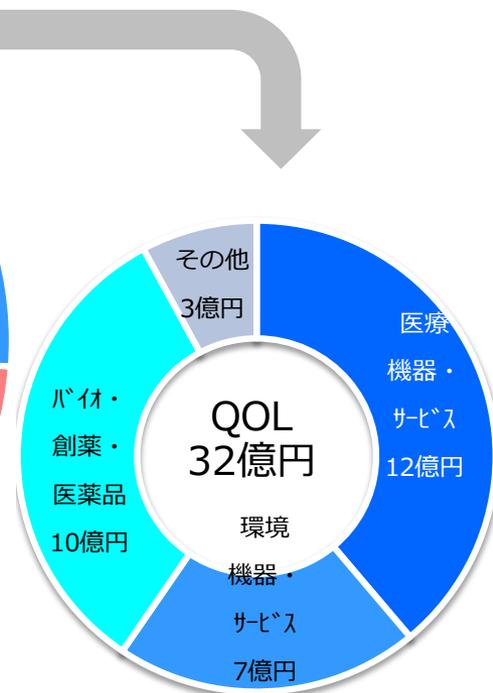
【地域別内訳】



【業種別内訳】

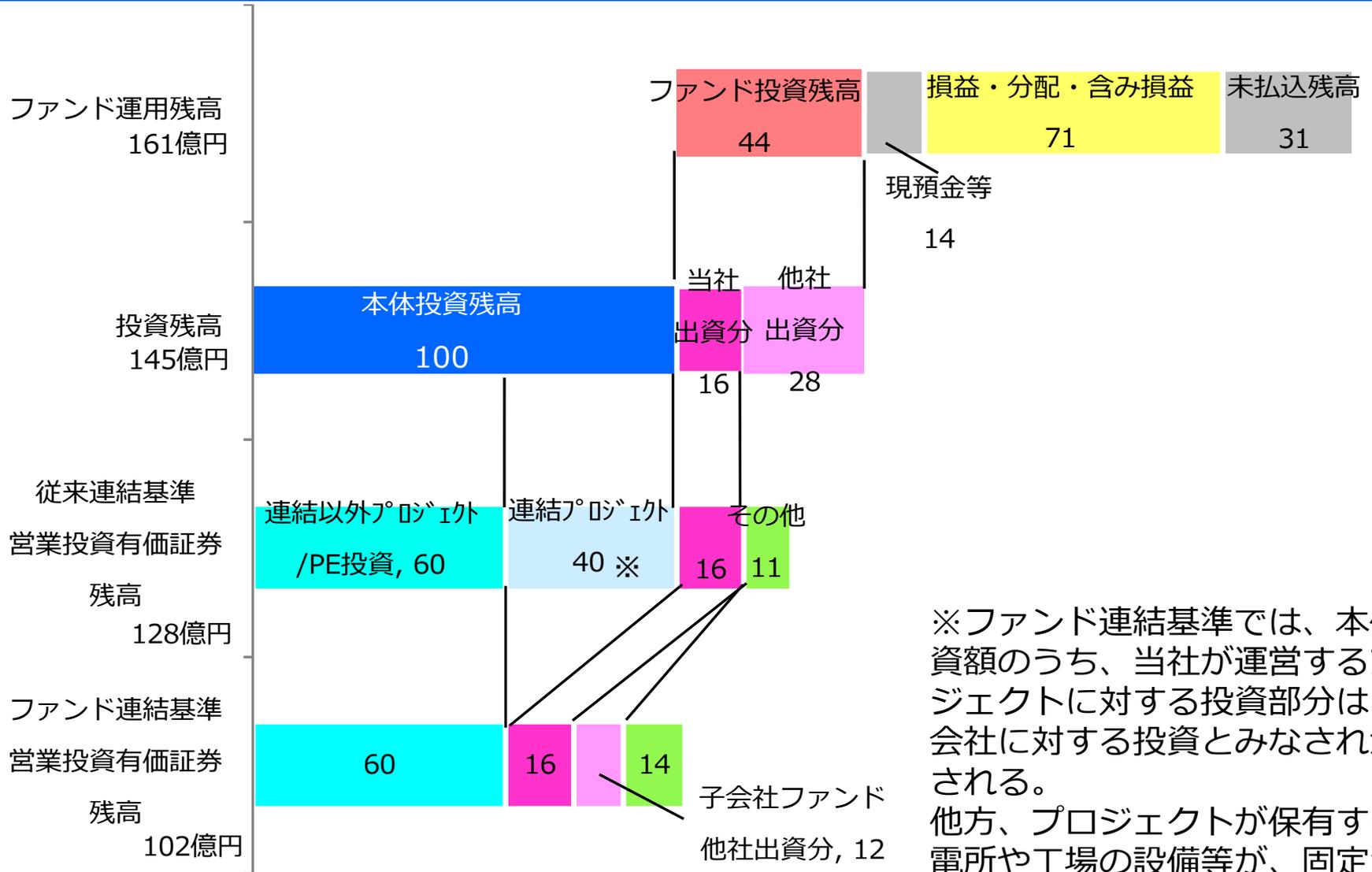


【QOL内訳】



1社当たり平均投資金額：
 日本66百万円、中華圏119百万円/QOL118百万円、IT43百万円

ファンド運用残高・投資残高・営業投資有価証券残高の関係



※ファンド連結基準では、本体投資額のうち、当社が運営するプロジェクトに対する投資部分は、子会社に対する投資とみなされ消去される。他方、プロジェクトが保有する発電所や工場の設備等が、固定資産に計上される。

主要データの推移 ①

・ファンドの状況、投資の状況

(単位：百万円)	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	19/3(3Q)	20/3(3Q)
ファンド設立・増加額	-	5,201	500	1,000	2,000	2,000	-
ファンド運用残高	43,897	39,335	28,753	19,150	16,494	18,062	16,094
うち 当社グループ出資額		14,004	9,427	5,867	5,344	5,377	5,191
投資実行額 (プライベートエクイティ投資)	1,470	1,304	1,131	1,205	136	136	977
投資残高 (プライベートエクイティ投資)	18,385	15,061	11,981	10,398	8,437	8,558	8,298
投資実行額 (プロジェクト投資)	1,257	2,788	3,184	2,681	3,612	2,683	1,950
投資残高 (プロジェクト投資)	1,337	3,722	4,576	3,582	5,514	4,836	6,191

主要データの推移 ②

・業績、財務状況

(単位：百万円)	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	19/3(3Q)	20/3(3Q)
業績							
営業収益	4,532	4,043	3,926	5,403	2,475	1,214	937
営業総利益	882	1,554	2,176	2,328	1,286	356	121
販売費及び一般管理費	1,433	1,472	1,339	1,311	1,109	816	780
営業利益	△550	82	836	1,017	177	△459	△658
経常利益	△610	612	726	954	83	△512	△753
親会社株主に帰属する当期純利益	△850	597	553	874	578	△197	△752
財務状況							
現預金	9,437	8,202	6,213	7,308	5,564	4,931	2,125
営業投資有価証券・貸付金（プロジェクト投資）	1,337	3,722	4,081	3,582	5,514	4,836	6,281
営業投資有価証券（戦略投資投資）	-	100	100	373	373	373	855
引当後 営業投資有価証券 （戦略投資以外のプライベートエクイティ投資）	10,364	8,126	7,256	5,657	4,765	4,839	4,644
借入金	20,193	16,910	14,128	11,954	9,784	9,784	8,166
自己資本	3,373	4,976	5,686	6,545	6,840	6,255	6,427
総資産	24,396	22,680	20,305	19,220	17,305	16,646	14,972

営業収益・営業原価 内訳

(単位：百万円)		15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	19/3(3Q)	20/3(3Q)	増減率(%)
1.	投資事業組合等管理業務								
	管理運営報酬等	571	441	364	277	241	187	153	△18.0%
	成功報酬	63	288	101	86	-	-	-	-
	営業収益	634	729	466	364	241	187	153	△18.0%
	営業原価	-	-	-	-	-	-	-	-
	営業総利益	634	729	466	364	241	187	153	△18.0%
2.	投資業務								
	営業投資有価証券売却高	3,651	2,954	2,275	3,219	1,746	602	566	△6.0%
	組合持分利益等	193	345	1,159	1,677	429	391	187	△52.1%
	営業収益	3,844	3,300	3,434	4,897	2,176	994	753	△24.2%
	営業投資有価証券売却原価	1,767	1,863	1,423	2,469	554	272	436	60.4%
	営業投資有価証券評価損・ 投資損失引当金繰入額	1,704	569	274	562	579	540	237	△56.0%
	組合持分損失等	168	47	46	36	49	40	137	238.7%
	営業原価	3,640	2,481	1,744	3,069	1,182	852	811	△4.8%
	営業総利益	203	818	1,690	1,827	993	141	△57	-
3.	その他								
	営業収益	53	13	25	142	57	32	29	△9.1%
	営業原価	9	7	6	5	6	4	4	△17.2%
	営業総利益	44	5	19	136	51	27	25	△7.7%
合計									
	連結営業収益	4,532	4,043	3,926	5,403	2,475	1,214	937	△22.8%
	連結営業原価	3,650	2,488	1,750	3,074	1,188	857	815	△4.9%
	連結営業総利益	882	1,554	2,176	2,328	1,286	356	121	△65.9%

投資候補となる企業やプロジェクトの発掘を通じて、専門性の高い、業界の最先端の動向を把握しています。

最先端の
業界情報収集力

アジアでの歴史

1981年に経済同友会を母体に設立されて以来、35年に亘り日本とアジアの経済交流に貢献し、アジアでの高い知名度を有しています。

JAIC

ファイナンス
スキーム構築力

ベンチャー企業との
ネットワーク

国内外で300社超の上場実績を有し、これまでの投資活動を通じて、多数のベンチャー企業と親密な関係を構築しています。

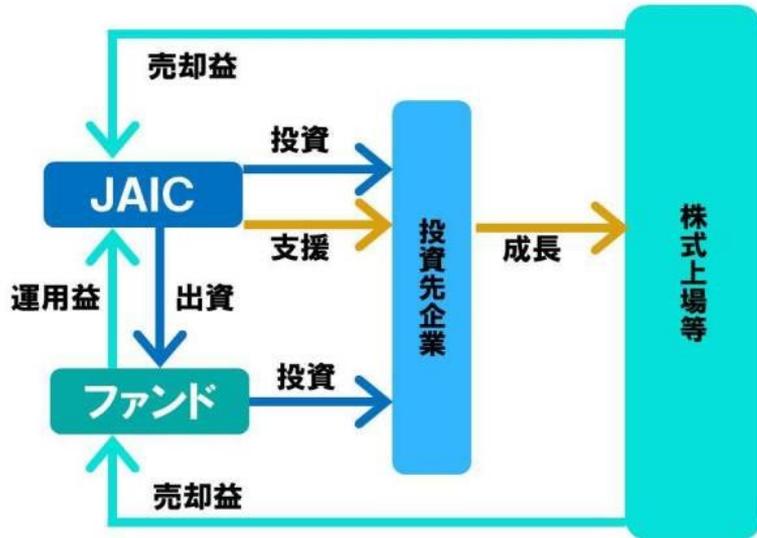
そのネットワークを、投資先企業の支援や、当社が新規事業テーマを開拓する際のアライアンスに活用します。

国内外で3,300億円の累計投資実績を有しています。

プロジェクト投資事業では、当社からの投資資金だけでなく、プロジェクトファイナンスなどの融資資金も交えた調達スキームを構築しています。

収益構造 - 投資業務

●投資業務：プライベートエクイティ

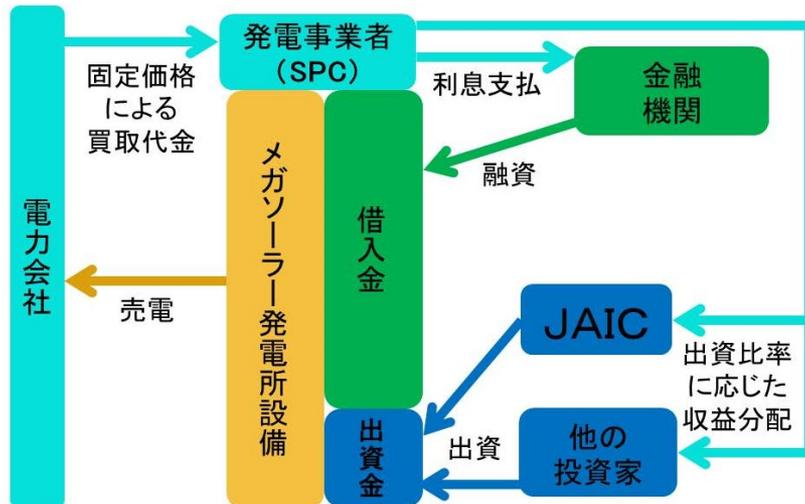


投資資金は、

- ・ J A I C 自身の手元資金からの拠出
- ・ ファンドを通じて国内外のファンド出資者から運用を委託された資金の2通りがあります

ファンドには、JAIC自身も一部出資し、出資比率に応じた運用益を獲得します。

●投資業務：再生可能エネルギープロジェクト



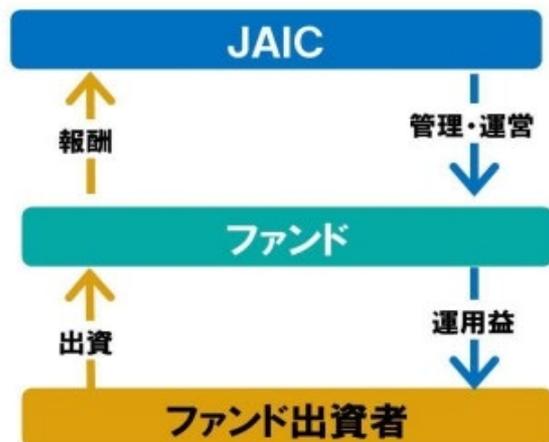
発電事業者は、発電所建設資金を、

- ・ J A I C、他の投資家の出資金
 - ・ 金融機関からの借入金
- の2通りで調達し、発電所を保有します。

発電した電力は、固定価格で電力会社買い取られます

J A I C 等の投資家は、出資比率に応じて、売電を源泉とした安定収益を獲得します

● 投資事業組合等（ファンド）の管理業務



ファンドの管理業務では、

- ・ 経常的な管理・運営に対して受領する管理報酬
- ・ ファンドのパフォーマンスに応じて受領する成功報酬

の2種類の報酬があります

会社概要 (2019年12月末現在)

商号	日本アジア投資株式会社	(略称) JAIC
本社所在地	東京都千代田区神田錦町三丁目11番地	
設立年月日	1981年7月10日	
資本金	5,426百万円	
株式上場市場	東京証券取引所 市場第一部	(証券コード : 8518)
従業員数	単体21名 / 連結39名	
事業領域	プライベートエクイティ投資、プロジェクト投資	
役員	取締役会長 (独立社外)	川俣 喜昭 : 取締役会議長
	代表取締役社長	下村 哲朗
	取締役 (執行役員)	八田 正史
	取締役	大森 和徳 : 監査等委員長
	取締役 (独立社外)	安川 均 : 監査等委員
	取締役 (独立社外)	沼波 正 : 監査等委員
	取締役 (独立社外)	片桐 春美 : 監査等委員

JAIC

日本アジア投資株式会社

〒101-8570 東京都千代田区神田錦町三丁目11番地 精興竹橋共同ビル

代表 T e l (03) 3259-8518 F a x (03) 3259-8511

<http://www.jaic-vc.co.jp>

I Rに関するお問合せ先：

執行役員 岸本

管理グループ 丸山

I Rに関するお問合せアドレス：ir@jaic-vc.co.jp

(ご注意) 本資料に記載された事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的とするものではありません。なお、本資料内の業績数値は全て従来連結ベースにて表示しております。